

# アスファルト混合物配合設計書

混合物名：再生密粒度アスコン(13)改質Ⅱ型

令和 7年 2月

クリーンアスコン

## アスファルト混合物配合設計報告書

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)改質II型

報告年月日

令和7年2月21日

使用プラント クリーンアスコン

配合設計者

石川 高弘

### 1. 使用材料の種類および産地

材料の種類	生産業者	生産地	材質等
6号碎石	坂田碎石工業株	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
7号碎石	坂田碎石工業株	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
碎砂	坂田碎石工業株	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
海砂	住若海運株	佐賀県唐津市	海砂
R13~0	クリーンアスコン	八頭郡八頭町郡家	再生骨材
石粉	足立石灰工業株	岡山県新見市足立	石灰石粉
アスファルト	昭和瀝青工業株	レジフィックス	改質II型

### 2. 骨材の配合割合(%)

材料の種類	6号碎石	7号碎石	碎砂	海砂	R13~0	石粉		アスファルト		合計
								再生アスファルト	新アスファルト	
室内配合率	30.5	17.0	14.0	14.0	20.0	4.5		(5.7)	—	100.0
AS含み (外割)	30.5	17.0	14.0	14.0	21.1	4.50		—	4.94	106.04
AS含み	28.7	16.0	13.2	13.2	20.0	4.2		—	4.7	100.0

### 3. 混合物の合成粒度(%)

ふるい目	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	0.60	0.30	0.15	0.075	備考
合成粒度	100	100	100	100.0	100.0	99.7		64.6	43.7	23.6	13.8	8.4	6.1	
比重補正後														
粒度範囲					100 ～ 100	95 ～ 100		55 ～ 70	35 ～ 50	18 ～ 30	10 ～ 21	6 ～ 16	4 ～ 8	

### 4. 設計アスファルト量における混合物性状

項目	設計アスファルト量(%)	理論密度(g/cm <sup>3</sup> )	密度(g/cm <sup>3</sup> )	空隙率(%)	飽和度(%)	安定度(kN)	フロー値(1/100cm)	残留安定度(%)	動的安定度(回/mm)	備考
測定値	5.7	2.478	2.385	3.8	77.6	11.96	28	91.4	4500	突固め回数
目標値	—	—	—	3 ～ 6	70 ～ 85	4.9 以上	20 ～ 40	75 以上	3000 以上	50回

### 5. 製造の温度

項目	AS加熱温度(℃)	骨材加熱温度(℃)	混合物温度(℃)							備考
目標温度	175	200	175							

## 骨材試験成績表

調査名・目的		配合試験						報告年月日	令和7年2月21日	
混合物種類		再生密粒度アスコン(13)改質II型						報告者	石川 高弘	
試験項目		6号碎石	7号碎石	碎砂	海砂	R13~0	石粉			
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	表乾	2.684	2.671	2.670	2.594	—	—			
	かさ	2.663	2.644	2.625	2.557	—	—			
	見掛け	2.721	2.718	2.748	2.654	2.476	2.720			
吸水量(%)		0.80	1.03	1.69	1.42	—	—			
ロサンゼルスすりへり減量(%)		11.3	—	—	—	—	—			
安定性(%)		2.8	2.9	1.9	2.1	—	—			
微粒分量試験で75 μmを通過する量(%)		—	—	—	—	—	—			
軟石含有量(%)		1.2	0.6	—	—	—	—			
扁平または細長石片含有量(%)		1.4	—	—	—	—	—			
単位体積質量(%)		1.57	1.49	1.74	1.62	—	—			
粘土・粘土塊含有量(%)		0.08	0.05	0.01	0.01	—	—			
旧アスファルト量(%)		—	—	—	—	5.20	—			
	ふるい目の呼び寸法 (mm)	6号碎石	7号碎石	碎砂	海砂	R13~0	石粉			
通過質量百分率 (%)	53.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	37.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	31.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	26.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	19.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	13.2	99.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	9.5									
	4.75	1.3	99.4	100.0	99.7	73.8	100.0			
	2.36		5.9	99.7	96.4	53.7	100.0			
	0.60			40.0	47.8	33.9	100.0			
	0.30			19.7	12.2	24.0	100.0			
	0.15			8.3	1.1	12.9	98.1			
	0.075			4.0	0.3	7.4	88.3			



## 混合物の理論最大密度計算表

調査名・目的 配合試験 試験年月日 令和7年2月21日  
 混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)改質II型 試験者 石川 高弘

骨材配合率		
骨材の種類	骨材のみ	旧アスファルト含む
6号碎石	30.5	30.50
7号碎石	17.0	17.00
碎砂	14.0	14.00
海砂	14.0	14.00
R13~0	20.0	21.10
石粉	4.5	4.50
計	100.0	101.10
旧アスファルト量 (%)		1.1

再生アスファルト量 (%)	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	5.7
再生アスファルト量 (外割%)	4.71	5.26	5.82	6.38	6.95	6.04
旧アスファルト量 (外割%)	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
新アスファルト量 (外割%)	3.61	4.16	4.72	5.28	5.85	4.94

①	②	③	④
骨材の種類	配合率(%)	計算に用いる密度	②／③
6号碎石	30.50	2.721	11.209
7号碎石	17.00	2.718	6.255
碎砂	14.00	2.748	5.095
海砂	14.00	2.654	5.275
R13~0	21.10	2.476	8.522
石粉	4.50	2.720	1.654
$\Sigma ② =$	101.10	$\Sigma ④ =$	38.010

⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
新アスファルト量 (%)	新アスファルトの密度	⑤／⑥	$\Sigma ④$	$⑦ + ⑧$	理論最大密度 $(\Sigma ② + ⑤) / ⑨$
3.61	1.032	3.498	38.010	41.508	2.523
4.16		4.031		42.041	2.504
4.72		4.574		42.584	2.485
5.28		5.116		43.126	2.467
5.85		5.669		43.679	2.449
4.94		4.787		42.797	2.478

マーシヤル安定度試験結果表（標準）

試料番号				混合物の種類				再生密粒度アスコン(13)改質II型				試験年月日		令和7年2月21日	
調査名・目的				混合物の使用場所								試験者		石川 高弘	
バインダーの種類				バインダーの密度A				1.032				混合温度		175 ℃	
突固め温度				160 ℃				突固め回数				試験条件		標準	
供試体No.	① バインダ量 %	② 供試体厚さ cm	③ 空中重量 g	④ 水中重量 g	⑤ 表乾重量 g	⑥ 容積 cm <sup>3</sup>	⑦ 密度 g/cm <sup>3</sup>	⑧ 理論 乾さ掛 g/cm <sup>3</sup>	⑨ バインダ容積 %	⑩ 空隙率 %	⑪ 骨材間隙率 %	⑫ 飽和度 %	⑬ 安定度試験 kN	⑭ 安定度 1/100cm フローアル	
					B=(5)-(4) C=(3)-(4)	(5)(3)(3) B B C		①*(7)/A	(1-(7)/(8)) *100	(9)+(10)	(9)/(11)*100				
1	4.5		1193.2	686.7	1195.3	508.6	2.346	2.523					9.88	26	
2			1195.4	685.9	1197.4	511.5	2.337						10.11	27	
3			1195.2	685.8	1197.9	512.1	2.334						10.58	19	
平均値						2.339	10.2	7.3	17.5	58.3	10.19	24			
1	5.0		1197.9	696.7	1201.1	504.4	2.375	2.504					10.77	27	
2			1201.5	695.0	1203.9	508.9	2.361						11.06	29	
3			1202.2	698.2	1205.9	507.7	2.368						11.65	28	
平均値						2.368	11.5	5.4	16.9	68.0	11.16	28			
1	5.5		1207.0	703.0	1209.3	506.3	2.384	2.485					12.02	32	
2			1206.2	705.9	1210.2	504.3	2.392						11.45	32	
3			1204.4	700.6	1207.5	506.9	2.376						11.99	26	
平均値						2.384	12.7	4.1	16.8	75.6	11.82	30			
1	6.0		1214.0	707.8	1217.5	509.7	2.382	2.467					11.92	34	
2			1215.5	709.4	1218.4	509.0	2.388						12.52	35	
3			1214.6	710.1	1217.5	507.4	2.394						12.10	33	
平均値						2.388	13.9	3.2	17.1	81.3	12.18	34			
1	6.5		1220.5	710.0	1222.4	512.4	2.382	2.449					12.12	39	
2			1221.7	711.6	1223.8	512.2	2.385						12.12	38	
3			1219.6	706.7	1221.3	514.6	2.370						11.01	34	
平均値						2.379	15.0	2.9	17.9	83.8	11.75	37			

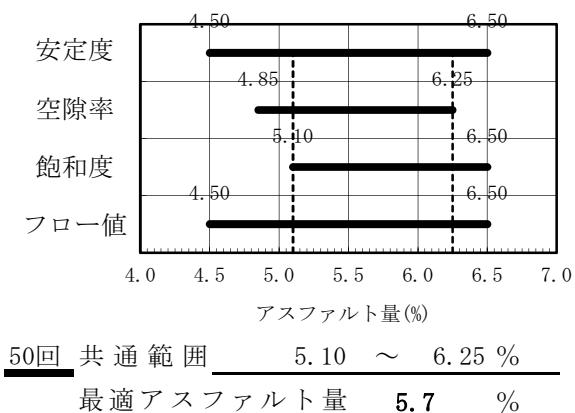
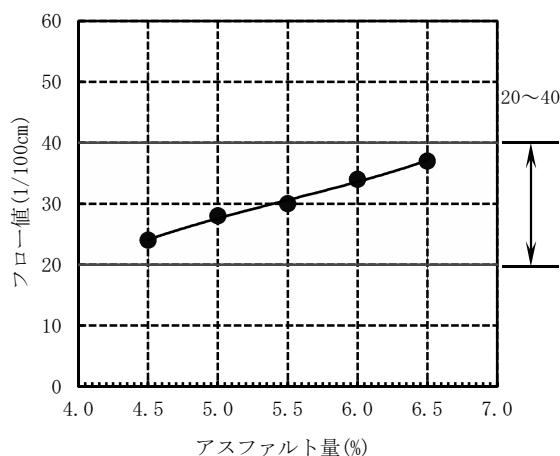
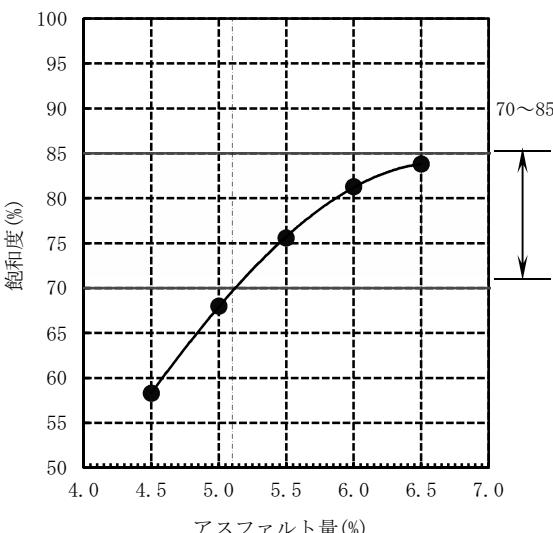
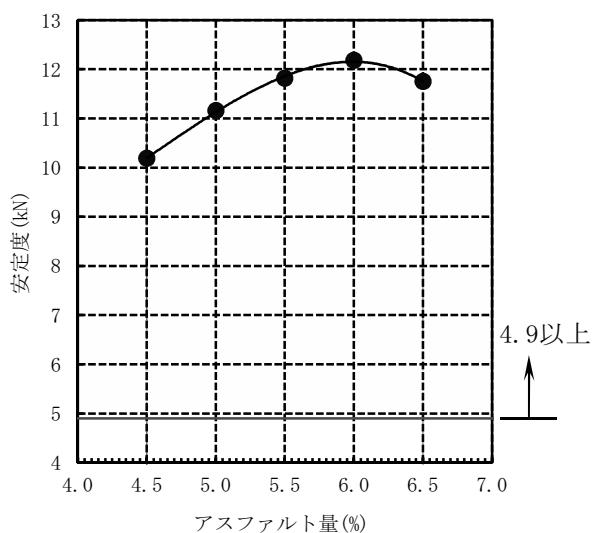
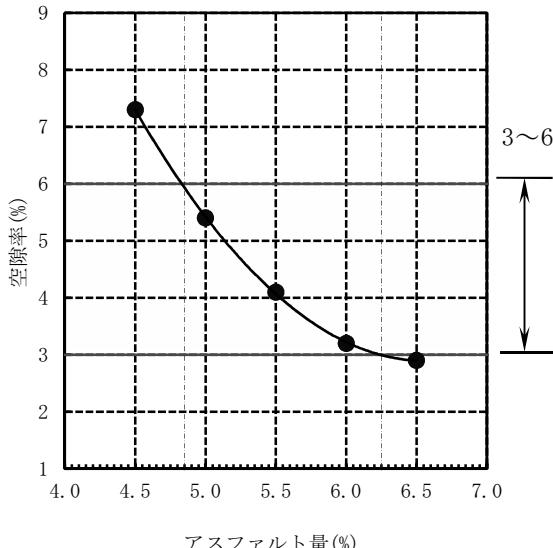
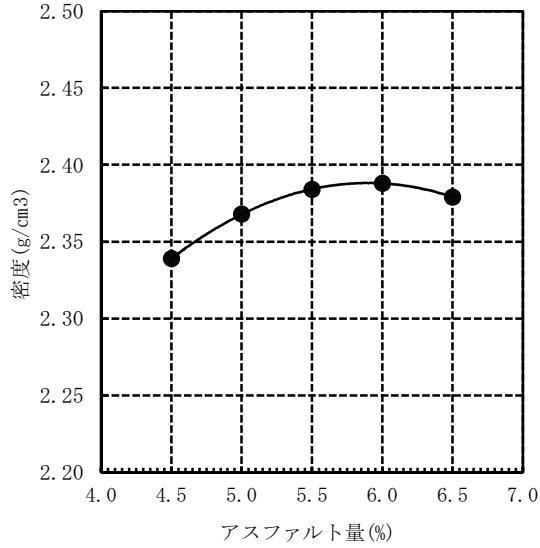
## マーシャル安定度試験結果図

調査名・目的 配合試験

試験年月日 令和7年2月21日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)改質II型

試験者 石川 高弘



## マーシャル安定度試験結果表 (水浸)



## 現 場 配 合 の 決 定

目 的	配合試験	試験年月日	令和7年2月21日
混合物の種類	再生密粒度アスコン(13)改質II型	試 験 者	石川 高弘

### 1. 現場配合割合

	骨材配合比 (%)	外割配合比 (%)	内割配合比 (%)	1バッチ重量 (kg)	骨材累加重量 (kg)
4 ビン					
3 ビン	30.0	30.0	28.3	283.0	283.0
2 ビン	16.5	16.5	15.5	155.0	438.0
1 ビン	29.0	29.0	27.3	273.0	711.0
再生ビン	20.0	21.10	20.0	200.0	200.0
石 粉	4.5	4.5	4.2	42.0	42.0
アスファルト	(5.7)	(6.04)			
旧アスファルト		(1.10)			
新アスファルト		4.94	4.7	47.0	47.0
合計	100.0	106.04	100.0	1000.0	1000.0

### 2. 混合温度

アスファルト製造業者の提示する条件の範囲の中から選ぶならば  
165 ℃～180 ℃となるが、舗装時期、運搬距離等を考慮して混合温度(指定温度)を 175 ℃とする。

### 3. 骨材加熱温度

混合温度より 25 ℃高くし 200 ℃とする。

### 4. アスファルト加熱温度

混合温度と同じ 175 ℃とする。

### 5. 初期転圧温度

転圧温度は、マーシャル試験最適締固め温度の範囲より選び 160 ℃とする。

**マーシャル安定度試験結果表（現場）**

試料番号		現場配合		混合物の種類		再生密粒度アスコン(13)改質II型		試験年月日		令和7年2月21日						
調査名・目的		配合設計		混合物の使用場所				試験者		石川 高弘						
バインダーの種類		04改質II型		バインダーの密度A		1.032		混合温度		175 °C						
突固め温度		160 °C		突固め回数		50 回		試験条件		標準						
試験条件	供試体No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
		バインダ量	供試体厚さ	空中重量	水中重量	表乾重量	容積	密度		バインダ容積	空隙率	骨材間隙率	飽和度	安定度試験		
		%	cm	g	g	g	cm <sup>3</sup>	表か見乾さ掛	理論	%	%	%	kN	安定度		
標準	5.7					B=(⑤)-(④)	⑤③③			①*(⑦)/A	(1-(⑦)/(⑧))*100	⑨+⑩	⑨/(⑪)*100			
		1		1211.0	703.7	1213.2	509.5	2.377						12.26	29	
		2		1208.2	705.9	1210.8	504.9	2.393						12.01	32	
		3		1206.1	703.6	1209.3	505.7	2.385						11.76	26	
		平均値						2.385		2.478	13.2	3.8	17.0	77.6	12.01	29

## ホイールトラッキング試験

調査名・目的 クリーンアスコン 配合試験 試験年月日 令和7年2月21日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)改質II型 試験者 石川 高弘

混合物の基準密度 2.385 g/cm<sup>3</sup> バインダー量 5.7 %

供試体の作製場所 1. 室内 2. 現場 3. 現場切取 換算係数C2= 1.0

試験条件	上載荷重 70 kg	60°C接地圧 6.3 kgf/cm <sup>2</sup>
	試験温度 60 °C	走行回数 2520 回
	走行方式 1. クランク式 - 2. チェーン式	換算係数C1= 1.0

供試体のNo.		1	2	3	平均
① 供試体の密度 (g/cm <sup>3</sup> )		2.381	2.390	2.383	
② 供試体の締固め度 (%)		99.8	100.2	99.9	100.0
変形量(mm)	③ d30	1.46	1.54	1.58	
	④ d45	1.60	1.72	1.78	
	⑤ d60	1.74	1.85	1.92	
⑥ 変形量の差 (mm)	⑤-④	0.14	0.13	0.14	⑦ 0.14
⑧ 動的安定度(DS) (回/mm)	15/⑥×42×C1×C2	4500	4846	4500	
⑨ 平均動的安定度	15/⑦×42×C1×C2				⑨ 4500
⑩ 平均値との差の平方	(⑨-⑧) <sup>2</sup>	0	119716	0	
⑪ 標準偏差	√(Σ⑩/(n-1))				⑪ 245
⑫ 変動係数 (%)	⑪/⑨				5.4
圧密変形量 (mm)	d0	1.18	1.33	1.36	
時間変形曲線の形状		上凸型	上凸型	上凸型	

### 備考

供試体寸法 : 30cm×30cm×5cm

試験輪走行速度 : 42回±1回/分

試験輪走行距離 : 23cm±1cm

供試体養生条件 : 試験開始前5時間以上24時間以内

DS値の変動係数は20%以下